

# 奄美群島と黒米糖

松島むの  
晴れ  
ときどき  
旅びより



甘いおいしい、奄美群島\*の特産品「黒米糖」。さわわ、さわわと風に乗れる姿がステキなサトウキビからできたシロは、奄美大島をはじめ、奄美群島の人々の歴史や日常生活に常に共にあるものなのです。

(\* 有人島には、奄美大島、喜界島、加計呂間島、言問島、与路島、徳島、沖永良部島、与論島がある)

鹿兒島 屋久島  
トカラ列島(鹿兒島県) 1952年日本復帰  
奄美群島(鹿兒島県) 1953年日本復帰  
沖繩県 1972年日本復帰  
石垣島

正確には北緯30度以南の島々がそうでした

北緯30度線

第二次世界大戦後米軍統治下だった日本の地は 沖縄だけじゃないんですよ!!

……穴然ですが、みなさんご存知ですか？

でも 当時の人々の生み出すパワーはすごいのです!!

奄美 がんばるよ!!

教科書、鍋、缶詰、箸、~~お茶~~

もちろん日用品は持ち込んで来ません

北緯30度以南の人々は日本本土へ自由に行き来ができません

……さて、米軍統治下時代

と、何とも言えない気分でした

このたった一歩がまたけない時があったんですよ……

トカラ列島の口之島には北緯30度のトコロに赤レンガが敷いてあります

トキモ通った時に

トキモ通った時に

トカラ列島の口之島には北緯30度のトコロに赤レンガが敷いてあります

トカラ列島は口之島が島の海沿いになったように

奄美群島の黒米糖

昔はこの沖に問屋の船がいて、来てクリヤ販ってたんよ

……と、話す人に

口之島で出会ったりもしました

問屋の船がいて、来てクリヤ販ってたんよ

問屋

本土の物を手に入れるため、また、島の物を本土へ送るため

……が、トカラ列島にはなりました

松島むの想像図

こんなルートで売られていました

② 口之島や鹿児島へ持ち行って売ると120円/1斤と約2倍になった

① 奄美群島で当時60円/1斤だった黒糖を集める

鹿児島

口之島

奄美大島

貿易の場

売れたお金で本土から来ていた商人から日用品を購入

黒糖と物々交換の場合もあったという

鍋

日用品

化粧品

釜

石鹸

当時の焼け野原で物が何もなかったからよかったですよ

奄美群島内で売れる

布

お茶

ハブラシ

宝船が来た!!

と、このころにたしか

同じく米軍統治下時代に誕生したモノがある

これは...

黒糖焼酎

最近、酒好きの間で認知度が高まっているお酒

米麴と黒糖でつくる酒

た。だ。し!!

黒糖焼酎をつくるには奄美群島だけ!!

アミシクローサキ

本土と自由に行き来できない

黒糖の売り先がな!!

と、でも...戦後にこんな問題が

泡盛を作る用の米が本土から入って来ない

米の代わりに黒糖で酒をつくらせよう!!

と、して黒糖焼酎が誕生しました

酒

製糖

その後、奄美群島が日本復帰した時

黒糖で酒をつくらせると税金が他より高かったよね

ええ!!

奄美

国

税

戦後のいろいろがあったから奄美群島だけは黒糖で酒をつくらせよう!!

と、なったわけです

奄美群島では黒糖をつくる製糖工場が今もあり主に冬期メインで稼働します

サウキビの山

そして、冬の間に現れるモノがあります

それは...

サウキビ湯の銭湯!!

ホカホカで気持ちいい

主に地元の人々が利用する

製糖工場では湯を温めて銭湯として地元の人に提供しているそうです

資源もムダなく大切に使う

奄美群島を合口む薩南諸島の年配の方々はお茶うけに黒糖を食べる人が多い印象

黒糖のかたまり

内地で食ると甘すぎるけど奄美の目着ナの中で食ると格別に美味!!

奄美群島にとって黒糖は切っても切れない大切な存在なんです

松島 むう : イラストエッセイスト。今までに訪れた島は118島。コースホテルやゲストハウスに100軒以上宿泊。著書に『日本てくてくてゲストハウスめぐり』（ダイヤモンド社）、『島旅ひとりっぽ』（小学館）、『トカラ列島秘境さんぽ』（西日本出版社）、最新刊は『もう風土記〜ごはんを紐解く日本の民俗・ならわし再発見録〜』（A&F）。Podcast配信→「松島むう」で検索を。lit.link/muumatutorii



## つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.32  
まとめてダウンロード



LiLiCoの映画で世界を旅しよう！…… P16



Cover Interview …… P02

筒井 あやめ  
みんなの時間とひとりの時間、  
それぞれを楽しみながら——



おしえて！旅GIRL …… P17



Youth Hostel Pick up …… P08

あまみユースホステル  
素の自分に帰ることができる場所



松島むうの晴れときどき旅びより …… P18



Hostelling Magazine x 地球の歩き方 …… P12

伝統菓子を求めて旅をする  
世界のスイーツ



YH-GUIDE ユースホステルガイド …… P20  
中国・四国/九州・沖縄地方



FYI, from HI-Office …… P15

発行所：一般財団法人日本ユースホステル協会

編集・発行人 寺島眞

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌の情報は2023年2月20日現在のものです。

変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。